

確 率 ・ 統 計

⑥ 1 担 当 教 員 名

准 教 授 川 北 素 子 (生命科学講座 数学)

2 配 当 学 年 等

第 2 学年 後期 2 単位 ⑤

① 3 学 習 目 標

主として蓋然性の支配する現象を理解するための数学的基礎である確率論の理解を深める。

実験、観測などによって得られた資料に基づいて推定・検定を行い、得られた結果により最適な計画をたてることができるようにする。

② 4 授 業 概 要

確率空間、確率変数の定義と基本的性質、二項分布、正規分布などの確率分布の性質、計算法などについての講述と演習を行う。
種々の統計量の分布、推定、検定などについての講述と演習を行う。

5 授 業 内 容

③ ④

年月日(曜)	時限	担当教員	項 目	内 容	教室
令和 2 年					
10月 7 日(水)	2	川 北	授業計画	授業計画	A
10月14日(水)	2	〃	確率	確率	A
10月21日(水)	2	〃	確率分布 1	離散型確率分布	A
10月28日(水)	2	〃	確率分布 2	連続型確率分布	A
11月 4 日(水)	2	〃	確率分布 3	二項分布	A
11月11日(水)	2	〃	確率分布 4	正規分布	A
11月18日(水)	2	〃	確率分布 5	演習	A
11月25日(水)	2	〃	統計 1	標本抽出	A
12月 2 日(水)	2	〃	統計 2	中心極限定理	A
12月 9 日(水)	2	〃	統計 3	推定	A
12月16日(水)	2	〃	統計 4	スチューデントの t 分布	A
12月23日(水)	2	〃	統計 5	仮説の検定	A
令和 3 年					
1 月 6 日(水)	2	〃	統計 6	平均値の検定	A
1 月13日(水)	2	〃	統計 7	割合の検定	A
1 月20日(水)	2	〃	統計 8	カイ 2 乗検定	A

6 授業形式・視聴覚機器の活用

黒板書による講義形式、適宜演習を行う。

⑦ 7 評 価 方 法

学期末に定期試験を行う。定期試験70%、演習30%の合計が60%以上を合格とする。

8 教科書・参考文献

教科書：「初等統計学」 P.G.ホーエル著、浅井晃・村上正康共訳 培風館 テキストISBN番号 978-4-563-00839-0

参考文献：「統計学演習」 村上正康・安田正實共著 培風館

「入門数理統計学」 P.G.ホーエル著、浅井晃・村上正康共訳 培風館

「基礎医学統計学」 加納克己・高橋秀人共著 南江堂

9 オフィスアワー（授業相談）

随時相談に応じます。

10 学生へのメッセージ

医学研究において統計が使われることが多い。理解を深めるため、また考える習慣をつけるために、演習問題を自分の力で解いて下さい。

11 授業用URL

<http://www.shiga-med.ac.jp/~kawakita/lectures.html>